

2020年1月19日(金) サンクチュアリ(第1ポンド・第2ポンド)

ニジマス 自分 37尾

ツレ 30尾

【料金】 半日午後 男性 ¥3,500 女性 ¥3,000

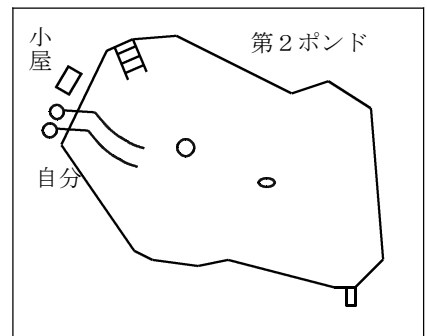
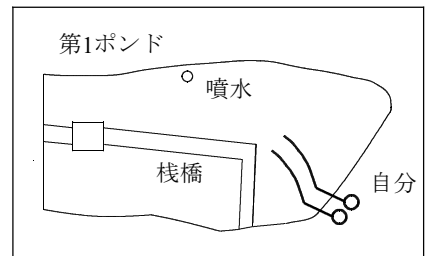
【様子】

- 曇り、風ほとんどなし。水は濁っている。
- 日曜日は放流も餌撒きもあり。
- 目標:半日で30尾釣る。ツレに20尾釣らせる。



12時15分～2時45分 12尾 第1ポンド

- 今日は大会があるため第2ポンドは使えない。栈橋が一杯で入れなかった。
- 一部にライズがあるが、自分たちの前にはない。表層にもマスが見られない。とりあえず、モカSR(SS)ミドピーノで試した。
- 着水後すぐ、カウント5、カウント10、カウント15といろいろ試すが、はっきりしない。釣れてくるが絞りきれない。
- トップで釣っている人がいたので、キャールフロート クリアでトップを試すことにした。連続ヒット(&ゲット)となるが、その後、続かない。
- ボトムを試すがさっぱりダメ。
- もう一度、カウント5で試した。プチモカ、ちびパニクラDR-SSで連続ヒット。ツレに教えた。
- この間、放流があったが、放流場所から遠いことから、スプーン オレ金を使うことはなかった。
- ツレが、ちびパニクラDR-SSミドピーノ風、カウント5で頻繁に当たるがバレてしまうというので、釣を交換した。これにより、数尾を釣ることができた。
- 第2ポンドで開催していた大会が終了したようだったので、様子を見に行った。
- 第2ポンドでスタッフ安藤さんにあった。「フォレストがスプーンでイベント用のカラーを販売している」と、紹介してくれた。おすすめカラーを聞いて、チェイサー 0.6g とM2 0.6g を購入した。一つ500円(税込み)だった。
- 第1ポンドに戻って、ツレに第2ポンドに行こうと伝えた。



- ・モカSR(SS)ミドピーノ 2～3尾
- ・プチモカSR(SS)ミドピーノ 2～3尾
- ・プチモカSR(SS)イルージョンペレット 2尾
- ・キャールフロート クリア 2～3尾
- ・ちびパニクラDR-SS 色不明 不明

2時45分～4時00分 19尾 第2ポンド

- 第2ポンドへ移動した。小屋前やや奥だけが空いていたので、そこに入った。

○ライズがあったので、プチモカSR(SS)ミドビノーで表層を釣ることにした。

・プチモカSR(SS)ミドビノー 5尾 表層 超低速ステディリトリーブ

○ライズがあるのでトップを試した。

○キャールフロート クリアで、「トイッチ(または、巻き)で水しぶきを上げて、止める」を試した。ヒット。

○しかし、やがてアタックしてくるも掛からなくなった。鉤をチェックしたところ、ベリーフックがなくなっていた。テールフックをはずし、ベリーフックにセットした。これで掛かるようになった。

○下から喰い上がってくるのだから、ベリーフックに掛かるということだろう。リリースするときリリースャーを使うため、鉤は一本がよいと思っている。トップのルアーは、ベリーフックだけでよいということだ。

・キャールフロート クリア トップ 5尾

○ツレが、ちびパニクラDR-SSでよく釣っていることから、自分もちびパニクラDR-SSで釣った。着水後すぐに、超低速のリトリーブで連続ヒットとなった。

・ちびパニクラDR-SS こぶ茶(グロー) (濃緑) 2尾 表層 超低速ステディリトリーブ

・ちびパニクラDR-SS エンドパンプキン (薄緑) 2尾 表層 超低速ステディリトリーブ

・ちびパニクラDR-SS タッキーブラウン (濃茶) 2尾 表層 超低速ステディリトリーブ

○スプーンで釣ってみることにした。チェイサー 0.6g ミドビノー・ホロでリトリーブを選ぶ。

○竿を少し上げてリトリーブしたが当たらず。竿とラインを一直線にしてリトリーブしたら、ヒット(&ゲット)。

○同じことを繰り返した。やはり竿とラインを一直線にしたときにヒット(&ゲット)した。この方が、チェイサーがうまく泳ぐということだろう。

・チェイサー 0.6g ミドビノー・ホロ 表層 3尾

4時00分～4時30分 餌撒き 6尾

○餌撒きが始まった。スタッフさんから「少し速めに巻いてください」とアドバイスがあった。触っては来るものの、鉤掛かりしない。リフト&フォールに切り替えた。ヒット(&ゲット)した。

・ペンタ1.0g サンドブラウン 4尾 リフト&フォール

○リフト&フォールで釣れなくなった。気持ち速めのステディリトリーブに変えた。ヒット(&ゲット)した。

○これを繰り返していたら、終了のアナウンスとなった。

・ペンタ1.0g サンドブラウン 2尾 ステディリトリーブ

4時30分 納竿

【ヒットルアー】

<第1ポンド>

・モカSR(SS)ミドビノー 2～3尾

・プチモカSR(SS)ミドビノー 2～3尾

・プチモカSR(SS)イリュージョンペレット 2尾

・キャールフロート 2～3尾

・ちびパニクラDR-SS 色不明 不明

<第2ポンド>

・プチモカSR(SS)ミドビノー 5尾 表層 超低速ステディリトリーブ

・キャールフロート クリア トップ 5尾

・ちびパニクラDR-SS こぶ茶(グロー) (濃緑) 2尾 表層 超低速ステディリトリーブ

・ちびパニクラDR-SS エンドパンプキン (薄緑) 2尾 表層 超低速ステディリトリーブ

・ちびパニクラDR-SS タッキーブラウン (濃茶) 2尾 表層 超低速ステディリトリーブ

・チェイサー 0.6g ミドビノー・ホロ 表層 3尾

<第2ポンド 餌撒き>

- ・ペンタ1.0g サンドブラウン 4尾 リフト&フォール
- ・ペンタ1.0g サンドブラウン 2尾 ステディリトリーブ

【ツレ】 30尾

<第1ポンド>

- ・モカSR(SS)ミドピーノ 1尾
- ・ちびパニクラDR-SSミドピーノ風 4尾 カウント5 超低速リトリーブ
 鈎の交換で掛かるようになった。

<第2ポンド>

- ・ちびパニクラDR-SSミドピーノ風 6尾 表層 超低速リトリーブ
- ・ちびパニクラDR-SSショボクレおこし(グロー) 8尾 表層 超低速リトリーブ
 ちびパニクラDR-SSショボクレおこし(グロー)は途中、鈎掛かりしなくなったが、鈎交換で、また掛かるようになった。

<第2ポンド 餌撒き>

- ・Pellet Pellet F ダークブラウンペレット (シンカーでSSに) 11尾
 表層 少し速めのリトリーブ(ツレにとっては普通の速さとのこと)

【釣り方】 — 釣れたときの再現性を高める —

<竿とラインの位置関係>

○竿とラインは一直線。竿先を左(または右)に少しふる(ずらす)ことはしない。巻き始めも一直線で、ルアーが手前に来ても一直線。常に一直線。これなら確実に再現できる。

<リトリーブ・スピード>

○超低速リトリーブとは : 竿とラインは一直線であるが、若干、竿先を上げると、ラインがたるむ。そのたるみが一定になるように巻く。

○これにより、つしばむような当たりでも、ラインが動くので分かる。グッと引くような当たりの場合は、手元に伝わらなくても、ラインが大きく動くので、これで合わせる。

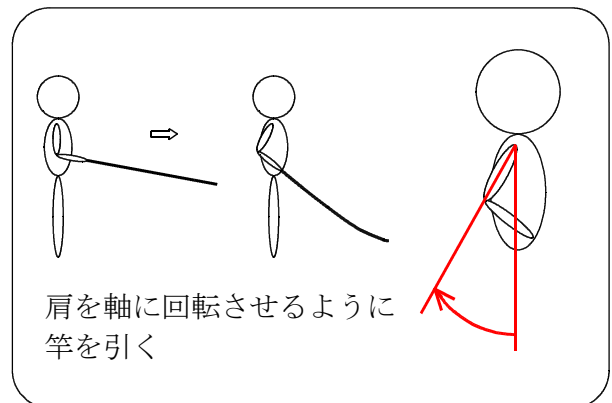
<合わせ>

○柔らかい竿でも鈎掛かりしやすいような合わせ方は、竿尻を手前に引くのがよいと考えるが、大型が掛かった場合、ラインブレイクの危険性がある。

○「肩を軸にして回転するように竿を引く」ことを試してみた。竿先がラインより下を向くことで大型が掛かって、竿の曲がり度でラインブレイクを防ぐことができるだろう。

○この方法はなかなか良い。鈎掛かりしなくても、ルアーは同じ層にいるので、そのままリトリーブできる。

○更に鈎掛かりをよくするためには、「肩を軸にして回転するように竿を引きながら、リールを少しでも回転させる」と良いのではないだろうか。



【ちびパニクラDR-SSのシンカー ベリーフック=0.06gシンカー】

○ちびパニクラDR-SSのベリーフックをはずしたところ、フローティングに変わってしまったので、0.06gシン

カーを貼ってSSにした。

○ところが、ショボクレおこし(グロー)だけはフックが外してなかった。

○ベリーフックがあるショボクレおこし(グロー)も、ベリーフックの代わりにシンカーを付けた他の色も同じように釣れた。このことから、ベリーフック=0.06gシンカーという扱いで良いことが分かった。

ちびパニクラDR-SS ショボクレおこし(グロー) ベリーフックあり

ちびパニクラDR-SS 他の色 ベリーフックなし 0.06gシンカーあり

【購入ルアー】

・フォレスト M2 0.6g イベント限定カラー ￥500(税込み)

・フォレスト チェイサー イベント限定カラー ￥500(税込み)



※2つの目標が達成できた。

※第1ポンドでずっと釣っていたら、目標は達成できなかつただろう。第2ポンドの方がよく釣れる。

※「ちびパニクラDR-SS」、「チェイサー 0.6g ミドピーノ・ホロ」でこんなに釣ったのは初めてだ。